※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	矢野智司ほか『改訂版 公共』（数研出版） 帝国書院編集部（編）『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	第一学習社編集部(編)『最新公共資料集』 数研出版編集部（編）『教科書準拠版　改訂版 公共 整理ノート』						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「社会」は様々な，そしてたくさんの「人間」が集まってできています。私たちも皆さんもその一人であり，そのことはふつう「社会」の一員であると言われます。「公共」の授業では，これら「社会」と「人間」についてそれぞれ深く理解したり，理解することで見えてくる様々な課題の解決をめざしたりすることで，「社会」の一員とはどのような存在であるか，ということに迫ります。そのためにも，たくさん本を読みましょう。よく新聞やニュースをチェックしましょう。そして，教科書を隅から隅まできちんと理解しましょう。

２　学習の到達目標

・現代の日本「社会」や国際「社会」とその中を主体的に生きる「人間」のそれぞれに関する理論や概念について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，日常生活と関連づけて理解する。
・現代の様々な「社会」とその中を主体的に生きる「人間」がそれぞれ抱える諸問題について情報収集したり他の生徒と議論したり，自らの経験を振り返ったりすることなどを通して深く考察し，自分なりの意見を適切な方法で多面的・多角的に表現する。
・現代の様々な「社会」やその中を主体的に生きる「人間」そのものについて広く関心を持ち，理想的な「社会」のあり方を主体的に構想したり，自らの在り方生き方を検証してよりよく生きることについての自覚を深めたりしようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断している。 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚しようとしている。 ・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについて自覚しようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　公共的な空間をつくる私たち	第1節青年期と自己形成 1青年期の意義と課題 2自我の確立と自己形成 第2節人間としての自覚 1生きることと考えること 2世界の宗教	a:青年期の意義や，人間に関する先哲の思想や宗教について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，理解している。 b:自己形成の課題や，先哲の思想や宗教などが自分自身の生き方や考え方に与える影響に気づき，青年期を通じて成長する自らの在り方生き方を考察している。 c:青年期の特徴や，先哲の思想や宗教などを通して自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究したり，よりよく生きることについての自覚を深めたりしようとしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第2章公共的な空間における人間としてのあり方生き方	第1節西洋近現代の思想 1 近代科学の考え方 2 人間の尊厳と幸福 第2節現代の諸課題と倫理 1 地球環境をめぐる問題 2 資源･エネルギーをめぐる問題 3 生命をめぐる問題 4 情報をめぐる問題	a:人間としての在り方生き方に関わる諸資料などを読み解き，選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b:倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的･多角的に考察し，表現している。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につけ，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第３章　公共的な空間における基本原理	第1節　民主社会の基本原理 １　民主政治の始まりと基本的人権の保障 ２　権力分立と法の支配 ３　世界の主な政治体制 第2節　日本社会の基本原理 １　日本国憲法と基本原理 ２　日本国憲法の平和主義 ３　日本の安全保障と日米安保体制 ４　基本的人権の尊重と法の下の平等 ５　自由権 ６　社会権と参政権・請求権 ７　新しい人権と人権の国際的な広がり	a:法などの社会規範や，民主政治の理念，日本国憲法の三大原理とその内容について，教科書や資料集など様々な資料を読み解いたり，日常生活と関連づけたりして理解している。 b:民主政治における国家と個人のあり方や，基本的権利の保障と他者の権利との衝突と調和，日本の平和主義の変遷について，具体的な状況などを通して考察している。 c:現代における民主政治の実現状況や人権保障の具体的現実に関する情報を主体的に収集することなどを通して，民主政治の諸原理や日本国憲法の基本原理に基づく社会のあり方を自分なりに構想しようとしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート
	第６章　国際社会の動向と日本の役割	第1節　国際政治の動向 １　国際社会と国際法 ２　国際連合の成立と組織 ３　国際連合の役割と課題 ４　戦後の国際情勢 第2節　国際政治の課題と日本の役割 １　軍縮への動き ２　現代の紛争 ３　世界の人権問題と日本	a:国際法や国際連合など国際機関の役割と課題，冷戦の成立と終結後の国際社会について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，理解している。 b:集団安全保障体制の意義と限界や，地域紛争など国際平和を実現するうえでの国際的課題，国際社会における日本の果たす役割などについて考察し，それらに対する自分の意見を構想したり説明したりしている。 c:様々な国際政治問題について具体的事例などの情報収集や他の生徒との議論などを通して身近な物事として捉え，それらを主体的に追究しようとしたり将来の展望をもとうとしたりしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	第5章　現代の経済社会と経済活動のあり方，	第1節　経済のしくみと市場機構 1　経済生活のしくみ 3　市場経済のしくみと物価 第3節　日本経済の発展と変化 1　戦後日本経済のあゆみ 2　1980年代以降の日本経済 第4節　豊かな生活と福祉の実現 1　消費者をめぐる問題	a:現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 b:法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として課題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:現代社会の経済に関する諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につけ，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	考査	考査 レポート 口頭発表	レポート 口頭発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度